

利便性向上

路線	山形	釧路	但馬	能登	静岡	紋別	白浜	天草
該当		○						

釧路では、利便性向上の取組として、運航情報の提供を行っており、以下に利便性向上の取組について整理する。

○実施概要

- ・ ビジネス利用客にとっては、利用路線の欠航時は迅速な代替交通機関への転換を必要とするため、利便性を高める取組として実施している。
- ・ 釧路駅から釧路空港までは 20km 離れており、市内から遠く離れた空港への移動は、移動時間・コストの負担となるため、市内での運航情報モニターによる早期の情報提供が利用者にとっての安心感を与え不安解消に役立てるものとしている。

○分析

- ・ 札幌市内在住者アンケート結果における「見たことがある」との回答は 20 歳代 36%、30 歳代 25%となっており、若年層のビジネス客に徐々に浸透している一方、全体的には「見たことがない」との回答は 94%であることから、モニター設置の認知度が低い状況にあり、航空利用への直接的な繋がりは薄いと考える。
- ・ ビジネス客や外国人の個人旅行者は、インターネットによりリアルタイムに航空会社や空港サイトにて欠航を把握することができるため、設置場所、周知方法に問題があったのではないかと考える。
- ・ 利用者アンケートからは「欠航情報を早く確認したい」、「遅延情報を早く確認したい」との意見がある。また、モニター設置事業者へのヒアリングでは、スマートフォンを持たない高齢者等には欠航情報は役に立っているとの意見があり、定性的な効果として欠航時の不安解消には役立っていると考ええる。